

頭頸部がん専門医制度委員会から重要なお知らせ

下記の内容が、第 29 回日本頭頸部外科学会総会・学術講演会における専門医制度委員会、理事会、評議員会、総会において討論の上、合意ならびに議決されましたので、お知らせ申し上げます。

第 10 回日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医試験は 2019 年 9 月 8 日（日）国立がん研究センター中央病院にて行われる予定です。また第 11 回は 2020 年 9 月に予定しております（東京予定）。

頭頸部がん専門医の申請には、セミナー受講が義務付けられております。暫定指導医から受験される場合は、倫理・安全セミナーのみが必須になっております。従来、倫理・安全セミナーは頭頸部外科学会の際に行っておりましたが、第 24 回学会を以て終了いたしました。今後は web 上の **Cancer e-learning** の医療倫理・医療安全を **on site** で受講していただくか、あるいは、日本専門医機構に認められた専門医共通講習における医療倫理・医療安全講習を受講していただくようお願いいたします。

頭頸部外科学会主催の頭頸部がん教育セミナーは、専門医取得者の更新時もしくは正規の専門医受験者に対して、5 年間のうちに 1 回は受講することが必須となっております（詳細は HP をご覧ください）。第 8 回の教育セミナーは、専門医試験の前日 2019 年 9 月 7 日（土）に国立がん研究センター中央病院にて行う予定となっております。

平成 25（2013）年の専門医制度規則改定により、5 年間の専門医研修は、認定施設（指定研修施設および準認定施設）に限られることになりましたのでご注意ください。尚、移行措置として平成 25（2013）年度までの、認定施設以外で専門医（暫定指導医）の常勤する施設における研修は、準認定施設における研修と同等と認定いたします。

頭頸部がん専門医受験における移行措置は平成 28（2016）年で終了になりました。平成 29（2017）年以降の専門医受験者はすべて正規の受験者となります（暫定指導医からの受験者を除く）。従いまして、今後受験を行う予定の研修者、またその指導にあたる指導者は、5 年間分の研修記録に加え、5 年間分の研修内容評価用紙の提出が必要になりますことを十分ご承知の上、ご対応いただくようお願い申し上げます。

具体的には、正規の受験者の場合は、以下の 3 つが必要となります。

1. 研修記録簿（正規受験用）

…詳細な記録が要求されるので、研修中は研修記録簿をつけておくこと。

2. 指導マニュアル（研修内容評価用紙：研修医用）

…各年毎に自分で記入し保管しておくこと。

3. 指導マニュアル（研修内容評価用紙：指導医用）

…各年毎に指導医から評価票への記入をもらって保管しておくこと。

申請直前に過去の研修記録簿の記載を一度に行うことは、作業が繁雑となり記録の正確性にも支障が出ると考えられます。記録簿や評価用紙につきましては、年次ごとなど定期的な記録を是非ともお願い申し上げます。

現在すでに正規受験用の研修記録簿や研修内容評価用紙への記入を行っておられる方は、5年間分の記入が完了した時点で正規受験が可能となります（ただし耳鼻咽喉科専門医取得後3年経過していることが前提です）。すなわち2014年から開始された方は2019年から、2015年から開始された方は2020年から可能です。

頭頸部がん専門医制度の研修カリキュラム・研修記録簿・研修評価用紙についてのご意見・ご要望などございましたら、学会事務局（E-mail: hns-service@onebridge.co.jp）までご連絡ください。

以下の表をご参照ください。

	2019	2020	2021
専門医試験 （毎年9月予定）	第10回 東京	第11回 （東京予定）	第12回 （東京予定）
倫／安セミナー	e-learning もしくは専門医共通講習		
教育セミナー	毎年の専門医試験の前日に行われます		
受験資格	暫定指導医 取得者	○（暫定指導医取得者は10年の有効期間の間であればいつでも専門医試験を受験できます）	
	正規	○（5年間分の研修記録と研修内容評価が必要）	